

がわしま



議会だより

9月定例会

No.94

平成23年11月21日

9月定例会審議結果

委員会のうごき

所管事務調査

一般質問 町の考えを問う



66億円 を認定

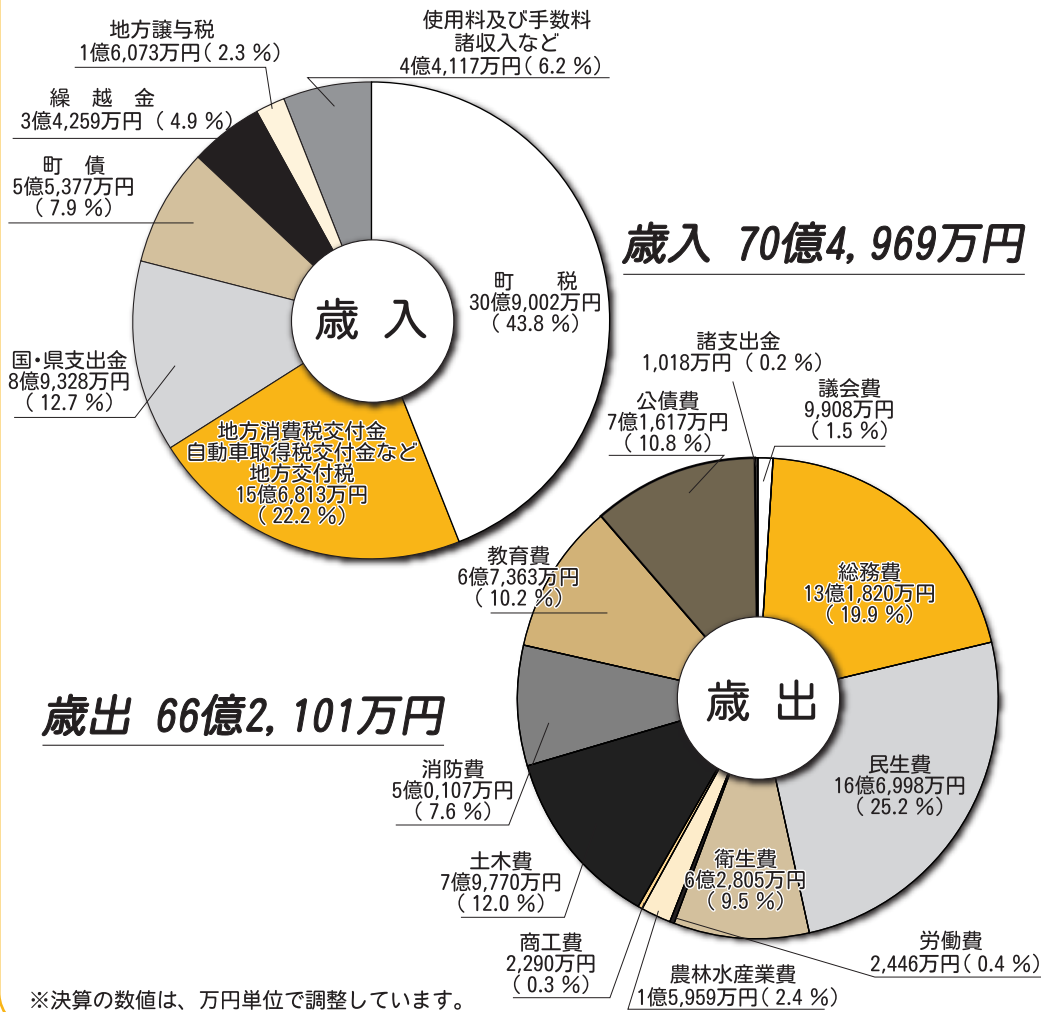
一般会計決算など

19議案を審議

9月の議会定例会が9月7日から21日までの会期15日間で行われました。

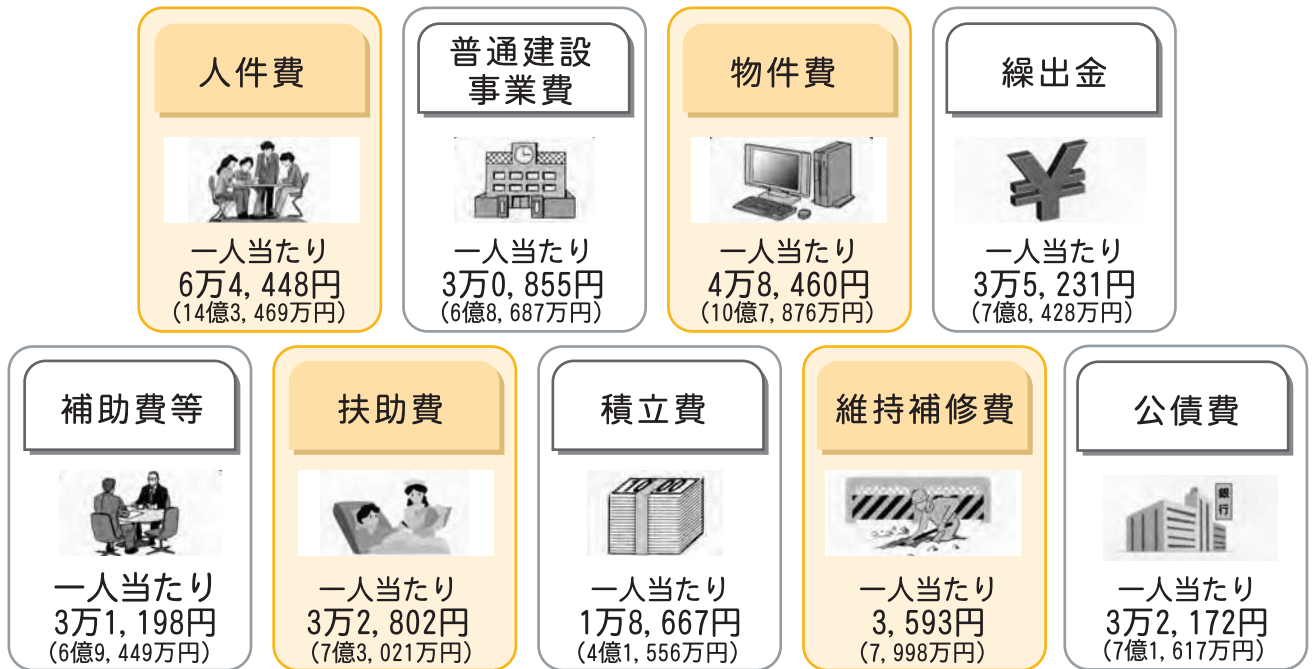
この議会では、平成22年度一般会計歳入歳出決算など19議案が審議され、全て原案可決・認定されました。
主な内容は次のとおりです。

平成22年度 一般会計歳入・歳出決算



こう使われた 平成22年度決算

一般会計（一人当たり：29万7,426円）



町人口22,261人（平成23年3月31日現在）（ ）内は総額

平成22年度 特別・企業会計決算

会計名	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
国民健康保険特別会計	23億4,432万円	22億4,808万円	9,624万円
学校給食費特別会計	9,200万円	9,168万円	32万円
下水道事業特別会計	5億2,149万円	5億1,156万円	993万円
老人保健特別会計	915万円	915万円	0
介護保険特別会計	12億1,611万円	12億0,198万円	1,413万円
後期高齢者医療特別会計	1億4,213万円	1億3,883万円	330万円
合計	43億2,520万円	42億0,128万円	
水道事業会計	事業収益	事業費用	純利益
	4億7,008万円	4億9,960万円	△2,952万円
	資本的収入	資本的支出	収支差引額
937万円	8,617万円	△7,680万円	

※水道事業会計の収入不足については、損益勘定留保資金などにより補てんしています。

平成23年 9月定例会議案審議結果

議案番号	議 案 内 容	採決結果
議 案 第35号	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて 災害弔慰金の支給等に関する法律の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、条例を改正するものです。	全員賛成 原案可決
議 案 第36号	埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少、同組合の規約の変更及び財産処分について 埼玉県市町村総合事務組合から鳩ヶ谷市を脱退させること及び同組合の規約を変更し、並びに同組合の財産処分について、議決を求めるものです。	全員賛成 原案可決
議 案 第37号	比企土地開発公社の解散について 所期の目的を達成したことにより、比企土地開発公社を解散するものです。	全員賛成 原案可決
議 案 第38号	平成23年度川島町一般会計補正予算（第2号） 歳入歳出にそれぞれ2億3,603万3千円を追加し、総額64億8,374万3千円とするものです。	賛成多数 原案可決
議 案 第39号	平成23年度川島町国民健康保険特別会計補正予算（第1号） 歳入歳出にそれぞれ9,939万9千円を追加し、総額24億6,625万5千円とするものです。	賛成多数 原案可決
議 案 第40号	平成23年度川島町下水道事業特別会計補正予算（第1号） 歳入歳出にそれぞれ421万円を追加し、総額7億3,821万円とするものです。	全員賛成 原案可決
議 案 第41号	平成23年度川島町水道事業会計補正予算（第1号） 収益的支出を128万2千円減額し、5億16万9千円とし、資本的支出を128万4千円減額し、1億5,084万6千円とするものです。	全員賛成 原案可決
議 案 第42号	平成22年度川島町一般会計歳入歳出決算認定について 歳入総額70億4,968万8,238円、歳出総額66億2,101万680円として、認定を求めるものです。	全員賛成 原案認定
議 案 第43号	平成22年度川島町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について 歳入総額23億4,432万5,408円、歳出総額22億4,807万7千円として、認定を求めるものです。	賛成多数 原案認定
議 案 第44号	平成22年度川島町学校給食費特別会計歳入歳出決算認定について 歳入総額9,200万1,370円、歳出総額9,168万3,137円として、認定を求めるものです。	全員賛成 原案認定
議 案 第45号	平成22年度川島町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について 歳入総額5億2,148万6,422円、歳出総額5億1,155万8,092円として、認定を求めるものです。	全員賛成 原案認定
議 案 第46号	平成22年度川島町老人保健特別会計歳入歳出決算認定について 歳入総額915万5,505円、歳出総額915万5,505円として、認定を求めるものです。	全員賛成 原案認定
議 案 第47号	平成22年度川島町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について 歳入総額12億1,610万9,346円、歳出総額12億198万4,757円として、認定を求めるものです。	全員賛成 原案認定
議 案 第48号	平成22年度川島町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について 歳入総額1億4,212万6,181円、歳出総額1億3,882万8,420円として、認定を求めるものです。	全員賛成 原案認定
議 案 第49号	平成22年度川島町水道事業会計決算認定について 収益的収入を4億7,007万8,875円、収益的支出を4億9,960万4,988円。資本的収入を937万620円、資本的支出を8,616万6,963円として認定を求めるものです。	全員賛成 原案認定
議 案 第50号	工事請負契約の締結について（飯島3号雨水幹線工事11-1工区） 飯島3号雨水幹線工事11-1工区について株式会社島村工業と工事請負契約を締結するものです。	全員賛成 原案可決
議 案 第51号	川島町固定資産評価員の選任について 固定資産評価員として、飯島和夫氏を選任することについて同意を得るものです。	全員賛成 原案同意
議 案 第52号	教育委員会委員の任命について 教育委員会委員として、富田三千彦氏を任命することについて同意を得るものです。	全員賛成 原案同意
諮 問 第2号	人権擁護委員の推薦について 人権擁護委員として、福島彰氏を推薦したいので承認を得るものです。	全員賛成 原案承認

安全、安心なまちづくりを

●平成23年度川島町一般会計補正予算(第2号)

問 庁舎建設基金、2億円の補正理由について伺いたい。

答 今回の積立てで11億1300万円になります。事務事業を進めている以上、財源の確保は重要と認識した中で積立てをしています。

問 庁舎建設費は概算どのくらいか。

答 基本構想では規模4800㎡



町道改良工事

として、庁舎建築で15億円、総額20億円くらいで検討していました。

問 町道改良工事における用地買収単価と、その推移について伺いたい。

答 市街化調整区域1㎡当り、平成16、17年度は宅地が1万円、農地が5000円、18、22年度は宅地が1万円、農地が4000円、23年度以降は20、23年の土地価格が、1割強下落しているのが、1割下げ、宅地を9000円、農地を3600円をお願いしたいと考えております。

●平成23年度水道会計補正予算について

問 県水の受水量の、日量8100㎡は県との協定による受水量か。

答 平沼浄水場に配水池3000㎡新設する段階で県と協議し、算出したものです。

●平成22年度一般会計歳入歳出決算認定について

問 税収入未済額が1億9000

万円あるが、収入の見込みは。

答 一括で納付出来ない場合には分納による納付をお願いしています。また、分納が滞る等の場合は財産調査を行い、差し押さえ等により滞納金を回収しますが、不能欠損になり回収できない場合もあります。

問 大規模リフォームに対する家屋の固定資産の評価は変わらないのか。

答 今の時点では面積の増減がない場合、家屋の固定資産の評価の見直しは行っておりません。

問 消防費の個人当たりの負担金が組合発足当時より増となっている。今後どう考えていくのか。

答 単独で消防署を設置した場合、今の決算額で賄いきれないと思います。安全、安心の町づくりに欠かせないのでご理解頂ければと思います。

問 都市計画図の電子化への整備状況はどうか。



県水を受水している平沼浄水場

答 2500分の1を基本に座標をもった電子地図を作成しており、道路台帳の取込み作業も進めています。

●平成22年度川島町水道事業会計決算認定について

問 八幡団地水管漏水事故に対する事業計画について伺いたい。

答 23年度工事は震災等の関係で補助金対象にならない状況で、24、25年度の2カ年で国庫補助を受け執行できればと考えています。

エアコンを幼稚園・小中学校に設置

9月から使用



幼稚園・小中学校に設置されたエアコン

●災害弔慰金の支給等に関する条例を定めることについて

問 町独自の条例なのか、国に従っての条例なのか。

答 国の災害弔慰金の支給に関する法律及び同法施行令の一部改正に準じて、町条例の一部を改正するものです。

問 費用負担はどうか。

答 国が2分の1、県が4分の1、

町が4分の1となります。

問 災害弔慰金はいくらか。

答 生計を主として維持していた人の場合は500万円、その他の場合は250万円となっております。

●平成23年度川島町一般会計補正予算(第2号)

問 災害時等の小中学校保護者への連絡メールシステムの導入とは。

答 災害時だけでなく、緊急時に電子メールを利用して正確、迅速に提供するものです。今回、小中学校全てに導入します。

問 保護者からシステム代を徴収するの。

答 徴収は考えておりません。

問 各学校にエアコン設置で電気料に苦慮しているのではないか。

答 監視装置により、使用電力が一気に上がらないようにします。

●平成22年度川島町一般会計歳入歳出決算認定について

問 川島幼稚園の園児数は。

答 平成22年度は123人、今年度は4歳児35人、5歳児67人合わせて102人です。

問 今後の幼稚園のあり方は。

答 川島幼稚園、私立幼稚園、町立保育園の保護者を対象に川島幼稚園に関するアンケートを実施しました。この結果を踏まえ検討致します。

問 学童保育への補助金は。

答 かつばくらぶ461万5千円、どりいむくらぶ435万円です。

問 ごみ焼却場の建設は。

答 現在川島町と川越市の事務方で協議を進めています。基本協定の内容については、そのあり方について慎重に協議を行っています。

問 児童館の設置の考えは。

答 学童保育施設の充実や児童館の整備については、町の総合振興計画にもあり、方向性をだしていきたいと考えています。



幼稚園に関するアンケートを実施

問 体育施設の使用料が減少している。スポーツをしながら健康維持というような事業を実施する予定があるのか。

答 医療費の抑制も視野に入れ、現在ウォーキングマップ作り着手しており、新しいスポーツとしてノルデックウォーキングを体協50周年記念事業に併せて紹介できるように検討しています。

町の考えを問う

町政一般質問要旨

※9月20日に一般質問が行われました。
 ※一般質問の内容は各質問議員によって編集されています。

<p>新井 悦子 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重度心身障がい者医療費窓口払い廃止について ・救急医療情報キットについて 	<p>飯野 徹也 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・副町長としての基本理念と基本的な姿勢を伺う ・国の農業者戸別所得補償制度と町の農政について 	<p>栗岩 輝治 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原発から自然エネルギーへの転換について ・区長要望の住環境整備について 	<p>石川 征郎 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内水排水路の整備について ・下水道整備について 	<p>菊地 敏昭 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地の現状と対策について ・雇用促進について ・町庁舎ダイヤライン方式導入のその後について ・節電効果について
---	--	--	--	---



問

重度心身障がい者
医療費窓口払いは

答

平成24年4月から廃止

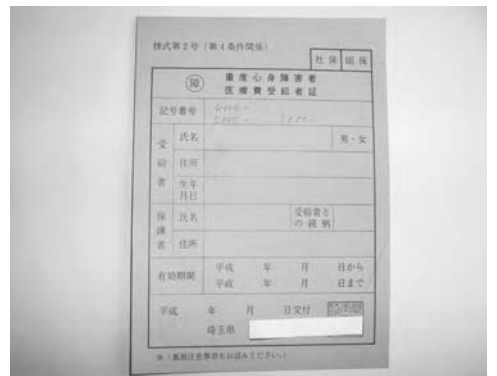
こ 新 井 悦 子

問 重度心身障がい者の方が単独で医療機関を利用されることは少なく、家族または支援者が申請手続きを行うこととなります。支える方が高齢であったり、役場までの交通手段が不便の場合さらに大きな負担となります。医療機関には定期的に行くことが多く、その都度役場に行くという煩雑さと金銭の負担も大きいです。医療費の窓口払いの廃止は、障がい者への負担軽減になると思うが考えを伺います。

答 福祉3医療の中で、子育て支援医療費は窓口払い廃止を実施していますが、重度心身障がい者が医療機関を受診された場合、県で償還払い方式を基準としていることもあり、町でも償還払い方式を採用しているところですが、今後、福祉3医療のひとり親家庭医療費も含め関係機関と調整し、平成24年4月の廃止に向けて準備をしていきます。

問 独居高齢者、障がい者、一日中一人である高齢者の方々が救急時に搬送される際、迅速な救命活動の手助けとなる、救急医療情報キットを町でも検討できないか。

答 平成22年度中に、川島町で約860件の救急出動件数でした。傷病者に個人情報を得ることが不可欠な場合、意識障害があるという場合に有効ですが、救急出動の中で個人情報推測の必要性の確率は非常に低いという場合、現段階でのキットの整備は難しいと考えております。



重度心身障害者医療費受給者証



整備の遅れている農業用道路
(小見野耕地にて)



問 副町長の所信を問う

答 顧客主義で
行政サービスを提供したい

飯野徹也

問 8月1日より就任した飯島副町長の就任にあたり、町政に対する基本理念と施策に対する取り組みの姿勢、考えを問う。具体的には、行政改革に対するこれまでの取り組みへの評価、今後の取り組みについての考えは。また、第5次総合振興計画についての評価と、副町長としていかなる基本的な姿勢で取り組む考えか。特に、リーディングプロジェクトに対する取り組みについての考えを聞きたい。

答 地域間競争の時代認識のもと、大の行政サービスの提供を基本としていきたいと考えます。第5次総合振興計画については、PDCAの方法で進行管理に努め、事業の推進を果たしたいと考えています。

問 国の農業者戸別所得補償制度が本格実施されているが、町内での実況と制度に対する町の考えは。また、町で独自に進めている、担い手農家利用集積モデル圃場整備事業の実績と町の農業への将来ビジョンはいかなるものか。

答 戸別所得補償制度の町の実施状況は22年度が352名、本年度が369名と増加しています。制度は、今年度規模拡大加算が導入されましたが、農地の貸し手加算等も検討されている段階なので、動向を注視していきたいと思えます。ビジョンにつきましては、大規模団地での米を基幹として、他の作物を組み合わせた経営が理想と考えています。

問 福島原発事故から6か月経過したが、現在も復興が思うように進んでおりません。自然エネルギーとしての「太陽光発電」の設置に、町として補助金制度の創設ができないか伺います。近隣では吉見町と本町に補助金制度がありません。

高知県譲原町では風力発電、岩手県葛巻町では太陽光発電など、先進自治体の取り組みを見習って、川島町の特性を生かした水力発電等を検討していくべきと考えますがどうか。

答 太陽光発電設備設置補助については、検討課題とさせていただきます。また、自然エネルギーのアイデア

問 太陽光発電に町の補助制度創設を

答 検討課題とします



栗 岩 輝 治

アなどあれば、お寄せいただければ参考とさせていただきますと思います。



最新式の太陽光パネル

問 区長から「住環境整備」の要望の207件の実施が遅れています。早急な実施計画の作成と、該当する区長さんへの説明が必要と思うが見解を伺います。また、圏央道側道工事に4年間で11億円かけているが、整備予算に配分できないか。

答 町民の皆さんからの道路、水路など様々な要望は、平成22年度だけでも200件程度受けています。総合振興計画の実施計画で工事の位置づけがあり、それに基づいて執行させていただいております。

圏央道側道は、町の東西を通る幹線道路として位置付けられており、利便性、生活道路として大変重要な道路と考えています。



整備が待たれる中山用水路

問 中山用水路（中伊川）は、雨水排水路としての整備が必要と考えるが、また、水路に付随した町道もあわせての整備について伺います。

答 平成24年度には、中山用水路（中伊川）から分水している伊草用水が上伊草地区内で飯島排水路と接続されます。大雨等で河川の水位が上昇した場合は、伊草用水から飯島排水路に排出できるような接続構造を計画していますので、大雨時には相対程度現在より水位が下がると考え



問 中山用水路の水路整備は

答 自然にやさしい工法で施工を

いし
かわ
ゆく
お
石川 征郎

ています。なお、整備工法については地域の皆様と協議をしながら、計画していきます。また、水路と並行している町道整備については、既に町道の両側に住宅等が立ち並んでい

ますので、拡幅工事は厳しい状況ですが今後検討していきます。

問 町道1-21号線（旧国道254号）と八幡団地との間の市街化調整区域の下水道整備が必要と思われるが対策はどのようなになっているのか。

答 公共下水道事業は都市計画事業として実施しているため、原則、市街化区域を認可区域としており、ご質問の区域につきましては、今後の都市計画の土地利用の区域の変更に合わせて調整をし、整備する計画となっております。また、現状では、住宅の敷地に隣接する道路に下水道管が敷設されている場合は、区域外流入申請に基づいて、町で受け付けをし、県の同意を得て、許可をしている状況です。負担は、宅内から本管接続まで全額個人負担となります。

ますので、拡幅工事は厳しい状況ですが今後検討していきます。

問 耕作放棄地の現状と対策は。

答 農業委員会では毎年調査を実施し、その結果をもとに営農再開や草刈り指導などの啓発活動を行い、三割程度減少しています。今後も農業委員会と連携し、条例に基づき耕作放棄地の解消に努めてまいります。

問 雇用促進のため、助成金は考えられないか。また、役場庁舎内に求人情報を提供できないか。

答 雇用促進助成金は現在考えていませんが、一人でも多くの方が雇用されるよう、会社へ直接伺いをお願いしています。求人情報は農政産業課の入口に掲示し確認できます。

あき
とし
ち
きく
昭 敏 地 菊

問 雇用促進について

答 広報紙にも求人情報を掲載します



農地の適正な管理を

問 今後は広報紙にも求人情報を掲載し雇用の推進に努めます。

答 町庁舎にダイヤルイン方式が導入されたがその効果は。

答 約67%が利用され今後も積極的にPRし、間違い電話のないよう努めます。半年分で212万円の削減効果が出ています。

問 節電対策の状況はどうか。

答 町は25%の目標を掲げ25・92%の節減ができました。一時的に終わることなく、今後も取り組んでまいります。開庁時間は10月より再開し、広報紙で周知いたします。今後計画停電が実施された場合、水道は非常用発電装置により水圧は下がりますが、供給可能です。節電のためのLED照明導入は、順次LED化を図りたいと考え防犯灯については新設はLED化を進めます。

今後は広報紙にも求人情報を掲載し雇用の推進に努めます。

総務経済建設常任委員会所管事務調査

1. 調査期間
平成23年7月12日(火)～13日(水)
2. 視察地
長野県坂城町、富士見町
3. 視察課題
① 地場産業、特産品の振興について(坂城町)
② 農業者支援について(富士見町)



長野県坂城町の研修

坂城町は明治37年町制を施行、後に3村と合併し現在に至ります。産業では、工業力は県下トップレベルを有し、平成20年度には事業所数269社、従業員数5960人、

製造品出荷額1736億となっており、21年度以降はリーマンショックの影響で出荷総額は876億と半額以上の落ち込みと見られます。工業の特徴は、多様な業種で構成されていること、大企業から独立した中小企業が多く、生産工程の自動化による付加価値の高い製品が多く、世界的市場を持つ研究開発企業があることが挙げられています。

工業振興策として、昭和32年工場誘致条例を制定し、3年間の税の優遇措置、敷地、金融の斡旋の便宜を図り、同年に商工課を設置、工業発展に対応した施策を行っています。38年には工業開発地域に指定され、多くの特別措置により、企業の誘致、振興が円滑に行われました。

川島町はかわじま産業団地の建設が順調に進んでいます。坂城町の状況を見ても、継続的な誘致の努力の必要性を感じました。

農業特産品としては、この地方特有の背丈のつまった「ネズミ大根」が注目され、さかき地場産直売場が22年に建設、他の農産物とともにネズミ大根の漬物も販売しています。

ネズミ大根は、江戸時代に長崎から薬用として伝来、代表的な食べ方として、このしぼり汁を麵つゆとして、味噌、ねぎ、鰹節、クルミなどを入れ釜揚げうどんで食べる素朴な味は好評とのことでした。

富士見町は、昭和30年富士見村外3村が合併し、富士見町となりました。広大な八ヶ岳のすそのにあり、現在はハイテク産業の町、観光の町へと変貌しつつあります。昭和56年頃からの企業の進出により就農人口の減少等による農地の荒廃を懸念し、総合振興計画の重要施策の一つに「農業の復活」を掲げ、就農者への支援を進めています。

就農への課題である、栽培技術指導、住居、農地、機械をパッケージ



長野県富士見町役場前

にして提供、町が地域、農家、JAと新規就農者のつなぎ役として、農業者支援をしていくとのことでした。

今後の課題として、個々の農業特性に合った農業者を育成する仕組みづくりと、所得目標を高く設定することも必要との話でした。

川島町は農業環境や都心に近いこともあり、全てを取り入れることは難しいが、新規就農者への具体的な計画と取り組みが必要だと感じました。

文教厚生常任委員会所管事務調査

1. 調査期間
平成23年7月7日(木)～8日(金)
2. 視察地
長野県泰阜村、岐阜県養老町
3. 視察課題
① 国保財政の健全化について(泰阜村)
② 生涯スポーツの振興について(養老町)

長野県泰阜村は県の南部、天竜川の東側に位置しております。合併をしないことで、当初は地方交付税が減らされ、財政が厳しくなるのではないかと心配がりましたが、実際は交付税があまり減らされなかったため、今まで借りていた借金の繰り上げ償還をすることができました。国保財政の健全化について、村は20年前から高齢化対策を進めていて、今は高齢化率が38・6%で、すでにピークを越え、高齢者が減少しています。国保税はここ4年間引き上げをしていません。また、今年度も上げないという事です。

基金は毎年積み増しが出来て、毎年240万から700万円程度の剰余金ができ、22年度末で9千万円余



岐阜県養老町の研修

りの基金ができてきている状況です。国保の給付は増加せず、基金が増加している原因は、今まで20年間にわたり高齢者の在宅福祉をやってきたこと、できるだけ入院や施設に入らな

いように、村に1か所の診療所の医師が24時間対応してくれたことで、できるだけ家にいること、在宅福祉、在宅医療をやっていた結果だと思ふとのことでした。今後は国保の広域化の検討がされ、今の保険料という訳にはいかず、医療費を安く抑えられない状況になると予測していました。

本町とは大きな違いを感じることも、置かれている状況の中で、国保財政の健全化の為の適切な施策はそれぞれ方法があり、自治体の状況に応じた施策の必要性を感じました。

次に、岐阜県養老町ですが、岐阜県の南西部に位置しております。生涯スポーツの振興について、養老町は昭和62年にスポーツの町を宣言し、いつでも、どこでも、誰でもスポーツを行える施設の整備や、推進体制の充実、各種事業の充実に努めています。その方針は、地域住民が自主的にスポーツに参加しやすい環境を整えることです。重点施策では、推進体制の充実として、スポーツ振興審議会を中心に総合型地域クラブを育成すること。体育指導員は18人いますが、体育振興会の会員214人



長野県泰阜村役場前

と連携してスポーツ振興を行っており、組織の層が厚いと感じました。総合型地域スポーツクラブは、若者からお年寄り、障害者までが参加しやすいスポーツクラブとして利用を高めようとしています。本町も昭和52年にスポーツ都市宣言を行い、生涯スポーツを推進していますが、施設整備はともかく、現在の課題をとらえスポーツのメニューや実施形態についても、養老町のような方法も研究する必要があるのではないかと感じました。

議 会 日 誌

8月

総務経済建設常任委員会協議会
 文教厚生常任委員会協議会
 議会報編集委員会
 文教厚生常任委員会協議会
 総務経済建設常任委員会協議会
 議会運営委員会
 議員全員協議会

9月

第26回川島町防災訓練
 9月定例会
 議会運営委員会協議会
 議員クラブ幹事会
 議員全員協議会
 議会報編集委員会

10月

第43回町民体育祭
 埼玉県町村議会議員研修会
 川島・吉見町議会議員意見交換会
 議会報編集委員会
 議会運営委員会所管事務調査

11月

行政視察
 議会報編集委員会

議会運営委員会所管事務調査

議会運営委員会では、調査研究事項として所管事務調査を下記の日程で実施しました。

調査事項 議会活性化について
 調査方法 現地調査
 調査日程 平成23年10月18日・19日
 調査場所 静岡県吉田町
 山梨県富士河口湖町

◎詳しい視察報告については次号(第95号)で報告いたします。



議 会 を 傍 聴 し ま せ ん か ?

・誰でも議会を傍聴することができます。
 ・議会定例会は3月、6月、9月、12月に開催されます。

※詳しくは、議会事務局にお問い合わせください

12月の定例会は
11月30日(水)
 開催予定です。

表 紙 解 説

秋晴れの10月1日、恒例の川島幼稚園で、第46回目の運動会が開催されました。

表紙の写真は、川島幼稚園の園児による「めざせドーナツ」という演技です。

大きなシートを、みんなで丸くなっぺ一気に入に中央に駆け寄ると、見事にシートは大きくふくらみました。

集団演技での、園児みんなの気持ちが一つにまとまり、良くできました。

未来の川島町を担う園児たちの演技を見学しながら、勇気をもたらした一日でした。

(写真・文章/栗岩)

編 集 後 記

朝晩は冷え込み、秋の深まりを感じます。空気も澄み、秩父の稜線も雪化粧した富士山と共にくっきりと綺麗に見える日が多くなりました。

「議会だより」は前号93号から、定例会の翌々月発行となりました。

「より早く」ということで、19年から翌月発行をしてきましたが、議会事務局は作成ソフトがないため、印刷業者とのやり取りに時間を割かれるなど、さまざまな問題がありました。

「後退」との御批判も耳にしますが、御理解を賜りたいと思います。

議会と町民を繋ぐツールとしての役割を果たすべく、「読んでもらえる」議会報の発行に努めたいと思います。

(記 飯野)

議会だより編集委員会

委員長	石川 征郎
副委員長	佐藤 芳男
委員	菊地 敏昭
委員	飯野 徹也
委員	栗岩 輝治
委員	新井 悦子
相談役	小高 春雄